

藍住町 議会だより

第73号

平成25年5月25日

発行 藍住町議会
編集 議会だより編集委員会
徳島県板野郡藍住町奥野
字矢上前 52-1

TEL (088)637-3127

FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>

本年7月末に完成予定～新町民体育館～



目次

3月定例会

平成25年度一般会計・特別会計当初予算	P.2～3
常任委員会～主な質疑～	P.6～7
一般質問～町政のここが聞きたい～	P.8～11
議員視察研修～宮城県石巻市・千葉県香取市～	P.12
わたしの一言・議会のうごき	P.14

3月定例会

を可決

3月議会定例会が3月7日から25日までの19日間の会期で開会されました。補正予算4件、当初予算8件、条例制定8件、条例改正5件、規約改正1件、契約の締結2件、その他の議案5件について審議し、全件原案のとおり可決されました。

石川町長は施政方針及び重要事項の説明を行いました。

一般質問では4人の議員が登壇し、町政について質問しました。



施政方針を述べる石川町長

石川町長の施政方針 (概要)

行財政改革の取組

〈保育所の民間移管〉

保育事業は順調に推移している。今後も連携しながら一層のサービス向上を図りたい。

〈建設現場業務の民間委託〉

4月1日からの委託開始に向け準備を整えたい。

〈藍寿苑の民営化〉

民営化基本計画案が整い、3月25日からパブリックコメントを実施。

防災対策

防災訓練・防災講座の実施、備品等の整備・充実、

津波避難計画の策定、海拔表示、町内2中学校への備蓄倉庫設置・矢上駐在所跡地に建設予定の防災倉庫設計等を予定。

各ハザードマップ作成

は、被害想定等の公表の遅れなどにより、平成25年度に繰り越す。

耐震診断・耐震改修、簡易耐震リフォーム支援事業

の対象を、平成12年5月末以前の着工住宅まで拡大。

家具転倒防止対策の助成対象を、耐震診断を受けた全世帯に拡大。

他自治体との災害応援協定の締結や、危機管理体制の強化、組織の充実を図る。

橋梁の超寿命化計画

東南海・南海地震にも耐えられるよう橋梁長寿命化修繕計画を作成しており、平成25年度には藍住橋の修繕工事、千鳥橋の修繕実施設計を行う予定。

新町民体育館

工事は予定どおり進捗し、7月末に完成予定。落成記念行事として「Vリーグチーム」による親善試合等を計画。来年にはジャパ

ンバスケットリーグを誘致予定。文化面でも町内2中学校とオーケストラの共演を計画している。

いじめ・体罰問題

今後ともいじめゼロ、体罰ゼロを徹底する。不審者対策・非行防止にも関係機関と連携し取り組む。

商工業施策

商工業振興施策として、経営革新支援制度に10件100万円、創業者支援制度に5件50万円、ユニバーサルなまちづくり事業に5件150万円を予算計上している。

環境問題

2月25日に「公益社団法人とくしま森とみどりの会」藍住支部設立総会を開催。「花と緑と太陽の町」にふさわしく、道路、公園、学校、その他公共施設や民有地についてもできるだけ緑化が進められるよう工夫したい。

藍住町結婚記念品贈呈事業

婚姻届受理証明書に、藍住町の町章を印刷した町独

自の様式を作成した。証明書の請求者(藍住町に住所を有する方)には、記念品として藍の花のすかし模様を施した用紙に提出者の写真を印刷した「結婚記念証」をお渡ししている。

職員等の退職金

また、婚姻届を提出する全町民を対象にお祝いの言葉を添えた花の種をお贈りしている。

勝瑞城館跡の整備

第1期整備は平成25年度で完了予定。現在、第2期整備の整備基本計画を策定中である。第2期整備はメイン施設である主殿跡と、池と泉を復元した池泉庭園の整備を実施する。

固定資産評価における路線価方式の導入

平成30年度の評価替えから路線価方式の導入を目指し、計画的に作業を進めたい。

公共下水道の現状

第1期事業認可区域の整備が完了する予定で、平成25年度は第2期事業認可区域の詳細設計と幹線工事の着手を計画。今後も公共用

水域、特に正法寺川の水質保全と生活環境の改善のため、下水道普及率の向上に努めたい。

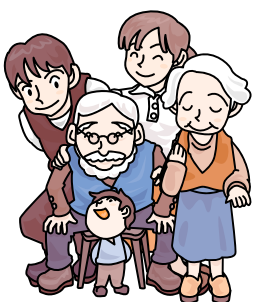
職員等の退職金

国家公務員に準じて本年4月1日から年度ごとに3段階で引下げを実施することとなった。

平成25年度予算編成方針

本町の財政状況は、健全な状態ではあるが、歳入の大幅な増加が見込めない中、福祉施策の扶助費、各施設の維持管理や耐震化、橋梁対策など財政需要は累増しており、今後も厳しい財政運営を余儀なくされる。

このように厳しい財政状況ではあるが、防災対策、生活環境の整備、安全・安心なまちづくりや子育て支援などに重点的な配分を心がけたところである。

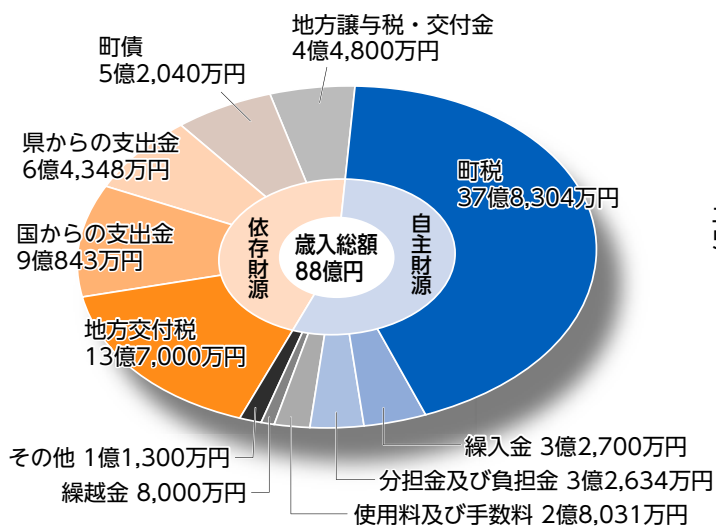


平成25年度当初予算

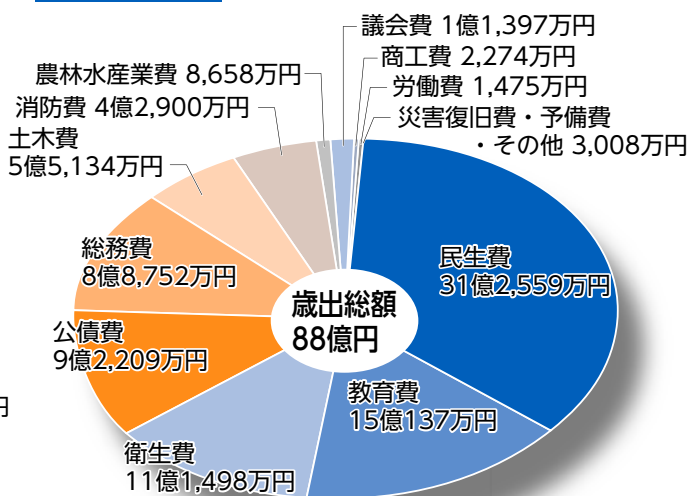
一般会計 88億円

前年度当初予算対比△6.43%

歳入



歳出



※ 1万円未満を四捨五入しているため合計額は一致しません。

一般会計の主な事業・新事業 (1万円未満切り捨て)

- 危機管理対策費 4,965万円
(東部地区津波避難計画、海拔表示等の委託料、備蓄品・防災倉庫・発電機等購入、木造住宅耐震診断・耐震改修等の補助など)
- 後期高齢者医療費(療養給付費負担金) 2億1,429万円
- 障害者総合支援費(旧自立支援給付費) 5億5,042万円
- 児童手当事業費 6億2,322万円
- 保育所運営業務委託料 2億4,600万円
- 子どもはぐくみ医療扶助費 1億7,400万円
- 西クリーンステーション管理費 4億2,951万円
- 中央クリーンステーション管理費 1億5,820万円
- 中小企業支援事業 300万円
(経営革新支援制度、創業者支援制度、ユニバーサルなまちづくり事業)
- 建設課現場業務委託料 5,551万円
- 藍住橋改修工事 2,300万円
- 板野東部消防組合負担金(常備) 3億8,170万円
- 勝瑞城館跡整備事業費 4,527万円
- 体育館管理費 6,414万円
(新町民体育館トレーニング機器、事務用備品等購入費など)

平成25年度一般会計・特別会計当初予算

会 計 名		予 算 額	前年度当初 予算対比
一 般 会 計		88億円	△ 6.43%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	31億1,600万円	0.26%
	介 護 保 険 事 業	20億円	3.87%
	介 護 サ ー ビ ス 事 業	1,080万円	0%
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	2億4,200万円	1.60%
	藍 寿 苑 介 護 サ ー ビ ス 事 業	2億5,770万円	1.78%
	下 水 道 事 業	4億2,300万円	27.03%
	水 道 事 業	収益的支出	4億3,040万円 △ 7.58%
		資本的支出	3億3,790万円 76.09%

平成24年度一般会計補正予算

歳入歳出
それぞれ

1億4,300万円増額

予算
総額

100億5,000万円

～主な補正の内容(1万円未満切り捨て)～

総務費

◆退職手当特別負担金 720万円

民生費

◆児童手当事業費 5億6,086万円
◆子ども手当事業費 △5億5,972万円
◆江ノ口児童館、富吉児童館耐震診断委託料 800万円

衛生費

◆合併浄化槽補助金 △1,013万円

農林水産業費

◆県営地盤沈下対策事業負担金 234万円

土木費

◆町営敷地団地耐震診断委託料 1,600万円
◆一般町道新設改良費 △1,500万円

消防費

◆常備消防費 △615万円

教育費

◆藍住南小学校、藍住北小学校トイレ改修 5,160万円

諸支出金

◆社会福祉施設整備事業積立金 1億円

平成24年度特別会計補正予算

会 計 名	補 正 額	補正後の額
国民健康保険事業	△1億480万円	30億6,500万円
後期高齢者医療事業	210万円	2億4,320万円
下水道事業	△100万円	3億3,200万円

その他の可決された議案及び報告

町長提案

- 特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 藍住町子どもはぐくみ医療費助成条例の一部改正
- 藍住町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
- 藍住町町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
- 藍住町公共下水道条例の一部改正
- 藍住町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定
- 藍住町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
- 藍住町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定
- 藍住町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関し必要な事項を定める条例の制定
- 藍住町町道の構造の技術的基準を定める条例の制定
- 藍住町町道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定
- 藍住町準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定
- 藍住町布設工事監督者が監督業務を行う水道の布設工事及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例の制定
- 板野郡障害程度区分認定審査会共同設置規約の一部改正
- (仮称)藍住町町民体育館新築工事請負契約の変更請負契約の締結
- 町道の路線認定
- 町道の路線変更
- 指定管理者の指定(社会福祉法人 藍住町社会福祉協議会)
- 指定管理者の指定(藍住町観光物産協会)
- 訴えの提起について
- 緞帳(舞台幕含む)の購入契約の締結

報 告

- 平成25年度藍住町土地開発公社の事業計画

選挙管理委員及び補充員の改選

平成25年4月23日の任期満了に伴う選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が3月定例会最終日に行われ、指名推選により次のかたがたが当選されました。任期は平成29年4月23日までです。

〈選挙管理委員会委員〉

鍋島 龍夫 氏
山田 俊昭 氏
佐藤 博之 氏
山室 建爾 氏

〈選挙管理委員会補充員〉

原 修平 氏
福永 三七男氏
濱口 正義 氏
沖野 勲 氏

※補充員については補充順

常任委員会

主な質疑

3月定例会の議案については、その審査を各常任委員会に付託しました。
各委員会において審査した結果、それぞれ全会一致で原案可決され、最終日に各委員長から審査結果の報告がありました。
主な質疑・意見については次のとおりです。

厚生常任委員会

平成25年度 一般会計当初予算

事業系ごみ処理手数料

問 受入れ料金は、他市町からの持込みはないか。

答 トン当たり7千円。車両にはらせたステッカーの確認や、抜き打ちでの荷物確認もしている。

西クリンステーション
耐火レンガ補修

問 数年前にすべて行ったのではないか。

答 平成20年に大規模改修をしたが、耐火レンガは3年程で補修が必要となる。

中央クリーン
ステーション管理費

問 施設管理委託料8641万5千円の内訳は。

平成25年度
国民健康保険事業当初予算

問 滞納繰越額の増減は。

答 平成22年度は約2億550万円、23年度は約2億200万円、24年度当初で1億8890万円と減少。

問 1人当たりの医療費と伸びは。

答 平成23年度で30万677円/人。伸びは3・8%。

問 医療費増加の分析と予防的な取組は。

答 肥満・高脂血症・高血圧が非常に多い。特定健診受診の呼びかけ、異常があった方への全戸訪問、ジェネリック医薬品の差額通知等を行っている。

平成25年度
介護保険事業当初予算

問 介護予防サービス給付費が前年度より2489万6千円減額した理由は。

答 要支援1、2の方の給付費は減少し、逆に居宅介護サービスや地域密着型サービスが増加している。

問 第1号被保険者保険料は介護保険財源の何%か。

また、第2号被保険者保険料はどこに入るか。

答 50%が国・県・町、21%が第1号被保険者保険料。残り29%が第2号被保険者保険料であり、4款・介護給付費交付金に入る。

問 第1号被保険者が増えて負担割合が21%を超えた場合、保険料を下げるのか。

答 人口推計を見越して計画しており、平成26年度までは保険料に変更はない。

問 介護給付費の不正受給対策は。

答 介護給付適正化システムの活用や介護給付費通知等の利用者への送付など。

平成25年度
後期高齢者医療事業当初予算

問 特別徴収、普通徴収の人数と滞納者数は。

答 特別徴収は2301人、普通徴収は491人でそのうち滞納者は27人。

「高齢者生活支援ハウス」入居者(死亡)の相続人に対し、居室の明渡しを求める訴えの提起

問 今後このようなことがないよう何か方策は。

答 入居の際、保証人に対して死亡後の遺品撤去を改めて強く確認したい。

建設産業常任委員会

平成25年度 一般会計当初予算

廃ビニール類
処理事業補助金

問 リサイクルされ、処理費はいらないのでは。

答 処理も必要で、その一部を板野郡農業用廃プラスチック適正処理協議会へ補助している。

問 千鳥橋修繕橋梁設計500万円は高すぎるのではないか。

答 詳細な調査業務が加わっているため少し高くなっている。

公園管理
清掃等の業務委託料は随意契約か。

答 すみれ藍住作業所とライフサポートに随意契約で発注している。

建設課現場業務委託

問 委託すればコストが下がると思うが、道路橋梁総務費が増えた理由は。

答 これまで別計上していた排水路の浚渫や土砂搬出工事を含めての委託料であり、トータルすれば安くなっている。

問 現場委託の人数は。町所有の作業車は今後どうするのか。

答 6名体制。作業車は売却を考えている。

問 バラ園駐車場土地購入場所とm単価は。

答 原橋北東の駐車場で、m単価は6万1千円。

問 正法寺川の管理道路舗装状況は。

答 当初は両岸とも県に舗装してもらうことになって



現場視察する建設産業常任委員

総務文教常任委員会

平成24年度 一般会計補正予算

〔北小・南小トイレ改修〕

問 5千万円計上しているが、どの程度の改修か。

答 1階1・2年生トイレの全面改修で、藍住中学校の全面改修を基に算定。

〔緑越事業〕

問 ハザードマップ作成はどうなっているか。

答 国交省による作成手引改正があることや、県の被害想定も遅れており、平成25年度に繰り越す。

平成25年度 一般会計当初予算

〔災害対策費〕

問 前年より増えた理由は。

答 防災行政無線操作卓を更新予定のためである。

〔家具転倒防止等
支援事業費補助金〕

問 民生委員が独居老人に対し奉仕で取り付けた場合の材料費は対象になるか。

答 領収書があれば対象。

〔庁舎ゴンドラ修繕工事〕

問 ゴンドラの使用頻度は。

答 現在清掃には使用していないがガラスの取替え等があれば必要になる。

〔庁舎トップライト改修〕

問 改修の内容は。

答 老朽化に伴う取替えでガラスから金属への変更を検討している。

〔町税の還付〕

問 過誤納付還付金の内容は。

答 過年度分の過誤納付に対する払戻金。法人町民税は予定納税があり、還付金額が多額になる場合がある。

〔キャロツ子学級〕

問 職員が4名から2名になっても十分指導できるか。

答 常時通学する子どもは6名前後であり、ボランティアのサポーター体制もできているため、以前のとおりに2名で対応可能と考える。

〔道路照明電気代等〕

問 前年より減った理由は。

答 街路灯のLED化が平成24年度でほぼ完了するためである。

〔勝瑞城館跡整備事業〕

問 プレハブは毎年借上するより購入するか、建てた

らどうか。

答 史跡内は基本的に恒久的な建物の許可が得られない等によりプレハブで対応している。

〔発電機の購入〕

問 何台購入するのか。保守点検は。

答 2台。使用後燃料を抜いている。防災訓練時等に点検したい。

〔AED〕

問 設置状況と保守点検は。

答 各学校や施設に設置。バッテリー、パッドは台帳管理し定期的に交換している。

〔藍中の監視カメラ
移設工事〕

問 駐輪場への移設か。

答 西校舎南側から中学校体育館側への移設である。

〔浄化槽汲み取り手数料〕

問 幼稚園等によりばらつきがあるのはなぜか。

答 たまった時に随時汲み取るため。また、南幼稚園と藍住中学校は下水道があり予算化されていない。

〔藍資料館の
大門修理工事〕

問 工事請負費1千万円に対し、県の補助金は下りるか。

答 県の予算状況が悪く、現時点では下りない。他の補助金を探している。

〔意見〕

藍資料館は建物だけでなく土地も寄付してもらうか売ってもらうべきである。

〔町税の滞納問題〕

問 財産の差押えは滞納整理機構がしてくれるのか。

答 町でも預金調査や生命保険調査を行い、差押えしている。

〔要保護要保護
就学援助費〕

問 申請が必要か。生活保護との関係は。

答 申請により所得を確認して決定。生活保護とは別で、要保護は生活保護の方、準要保護は生活保護所得の1・3倍程度の方である。

新町民体育館新築 工事変更請負契約

問 外構や舞台装置が別途工事になった理由は。

答 予算編成が駆け込みで補助金をもらう時期だったため当初から予算不足があり、付帯工事を除いて契約しているため。

平成25年度 下水道事業当初予算

問 委託料175万円の内容は。

答 徴収業務委託料は下水道の請求分を水道課に徴収依頼するもの。台帳整備業務委託料は工事の出来高図を正式に作成するためデータ化している。

問 長期借入償還金の利率は。元金は減っているか。

答 利率は現在1・5%。元金は減ってきているが、平成25年度に大きな借入を行うため若干増えてくる。

平成25年度 水道事業当初予算

問 水道使用料の滞納理由と対策は。

答 転出して行方不明、生活苦で払えない等。未納が続けば給水停止している。

問 ①排水及び給水費の路面復旧費1700万円②補修工事用材料費1800万円③受託工事費の路面復旧費300万円について、こ



町道の路線認定箇所を

れだけ必要なのか。また、それぞれの解釈は。

答 最近では漏水箇所が多いため、補修も多い。

①補修の際、路面が傷んでいる場合は一緒に舗装している。

②補修用の材料で、別に支払っている。

③工事跡の舗装とその材料費である。

問 配水管布設替と藍住橋水管橋耐震化の設計で1200万円も必要なのか。水管橋のやり替え工事代は入っていないのか。

答 工事代金は工事請負費に含まれている。配水管布設替設計は石綿管更新分で、設計基準は基準仕様書を基に計算されている。

問 水道事業の舗装費が建設課の舗装費より多い理由は。

答 建設課や下水道課の後に水道課が掘って全面張る場合もあり、これくらいの予算が必要である。

町政のここが聞きたい

一般質問

いじめ・体罰について

いじめ撲滅・体罰厳禁の方針を徹底していく

問 いじめについて、昨年9月の一般質問以後の取組状況、また、大津の第三者調査委員会報告では先生方が多忙で連携が取れていなかったことも一因とあり、先生方の多忙感の本町のアンケート調査でも同様の状態です。今後の対策を尋ねます。

答 把握したいいじめの事案は、個々に事実を説明、既に解消し、再発しないよう注意している。今後の具体的防止策として「QUアンケート」や「予防教育」を町内全小中学校で実施する計画である。家庭や地域の教育力の活用・向上を一歩一歩進めたい。

体罰も暴力であり、どんな理由を並べても許される行為ではなく学校教育法で禁じられています。本町の把握状況と防止策について尋ねます。

災害時要援護者名簿の整備について

登録者は平成24年度当初の435人から493人に増加

問 第5期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画によると、地域における支援体制の整備が必要であり、安全安心な日常生活を確保するためには災害時要援護者名簿の整備を進めるとありますが、その進捗状況について、また、被災後の取組も大切と考えます。これらについて尋ねます。

答 平成20年度から民生委員・児童委員に御協力いただき、独居老人や高齢者世帯への新規登録の働きかけ・登録者の登録内容の確認を行っている。今後も内容の充実整備を図り、災害時に実効性のある台帳となるよう工夫したい。



西岡 恵子 議員

緑化推進について 身近なところから取り組みたい

問 本町は、2月25日に「公益法人とくしま森とみどり

の会」藍住支部を設立し、地球温暖化の防止や省エネ

ルギー、あるいは快適な生活環境の整備のため地域の緑化を進め、そして、「花と緑と太陽の町」にふさわしく道路、公園、学校や体育館施設、その他公共施設の敷地内はもとより民有地においても緑化を工夫することですが具体的な取組について尋ねます。

答 開発面積が1500㎡以上の民間住宅や店舗等には、景観を保つため開発面積の3%以上の緑地を設置していただくようお願いしている。また、平成25年度から一斉清掃の後、地域に花を植えていただくようお願いするため、駐在員の皆さんに花の種を配る予定である。そのほか、緑化ボランティアの育成支援等を図っていく。



大型商業施設の敷地内に設けられた緑地

その他の質問

- ◆ 児童生徒の防災訓練の現状について
- ◆ 保育所の入所状況について

町政のここが聞きたい

一般質問



参観席側から見た開票風景(町民シアター)

選挙について

開票は町民シアターが最良と考える

問 ①平成24年の町議会議員選挙での投票率は47・67%であり、都市部並みの50%を切るが多くなっているが、投票率アップに向けての取組は。
②平成21年11月の町長選挙より、従来行われていた藍住中学校の体育館から役場4階コミュニティセンターで開票が行われている。新町民体育館が7月末に完成予定との事だが、観覧席が536席あり災害に強い体育館でもあるため、公明性の観点からも町民のだれでも開票が見えるこの広い新町民体育館に変えてはどうか。

答 ①選挙特別号の広報発行や、選挙前日当日における明るい選挙推進協議会の皆さんとの広報車での広報活動、成人式での選挙啓発リーフレット配付などを行っている。
②町民シアターでの開票は報道関係者からも評価を得られており、正確性の確保、迅速性、公開性の観点からも現在の設営、運用が最良と考えている。

農業振興について

鳴門藍住支援センターやJJAと連携を図りたい



小川 幸英 議員

問 ①農業者の高齢化少子化により農業に従事する人が減少しているが、それに対応した農家の指標となる

経営方針作成はどのようになっているか。
②有機農業推進に向けて取り組むことはできないか。
③農業振興のため地産地消の取組において町内の学校給食では藍住町産の野菜は何%使用されているか。

答 ①藍住町農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想の中で、経営の指標を具体的に定めている。農林水産省が経営改善を図るた

めの経営状況の自己チェックツールを策定しており、この利用を推進したい。
②手間がかかる割に販路開拓が難しく購入先が見つけられないなどが問題で生産拡大につながっていない。町内に有機農業を行いたい人がどれくらいいるか調査を行いたい。
③にんじんについては4月から5月の間は、町内産でほとんど賄われている。

子育て支援について

国・県の動向を注視したい

問 本町は子育て支援の観点から、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチン、子宮けいがんワクチン等をいち早く無料にして取り組んできたが、乳幼児の予防接種助成拡大の意味からも、ロタウイルスやB型肝炎ワクチン接種に対する助成をしてほしいとの要望が多い。助成する考えはないか。

答 御質問の両ワクチンについては、現在、県内の市町村で公費助成を行っているところはないと聞いています。厚生労働省は公費負担で接種できる定期接種化を検討したいとのことであり、今後、国・県の動向を注視したい。

その他の質問

◆新町民体育館について

町政のここが聞きたい

一般質問

TPP 交渉参加は公約違反

国に日本の農と食を守るための
政策を働きかけたい

問 ①日本農業は関税が撤廃されると、主食の米は9割が外国産に置き換わり、農家は大きな打撃を受けるが、TPP参加交渉で農業経営が破壊されるおそれはないのか。

②町としてのTPPへの対応、情報収集、発信はどのようにしているか。また、JAとの共同は。

③藍住町の影響額はいくらか。

④輸入食品の増加で遺伝子組み替え食品が学校給食に入ってくるのではないか。

答 ①損失は2億4千万円（町内総算出額35億3千万円の6・8％）。にんじん等の関税率10％未満の野菜や果樹は含まれておらず、影響額は更に増える可能性がある。

②町に影響のある米や乳製品等の農産物5品目は例外品目になるよう要望したい。

必要以上の不安感をあおることのないよう情報収集し、できるだけ早く分かりやすく伝えたい。

今のところJAからは直接抗議声明の要望等はない。影響額を共同で算出したい。

③前記のとおり。

④従来どおりの方針を貫き、安心安全な給食の提供に努めたい。

合併浄化槽設置に 補助金増額を

設置者負担軽減のため県補助金廃止後、
削減分は町が負担している



林 茂 議員

問 ①公共下水道事業第1期工事費の総額、町財政からの繰入金総額、町債の総額はいくらか。

②石巻市と香取市の地震と液状化の被害を見ると、上水道や下水道の被害が大きくて復旧には大変な費用と時間を要している。町は液状化と地震対策は心配ないのか。

③合併浄化槽の事業費総額とその内訳、補助基数は。

④新年度の公共下水道事業予算は、繰入金と町債計3億9011万円で歳入の73％を占めており、財政支出が下水道事業に偏っている。

下水道の認可区域でないところは、負担だけを負わされておき、公平な町財政の使い方を考えるならば、まだ設置が先になる区域に



合併浄化槽設置工事の様子

については、合併浄化槽設置の補助金を引き上げ、汚水処理をすすめるべきだ。

答 ①平成23年度までの工事費総額18億4064万円、繰入金総額7億3961万円、町債総額は流域関連事業負担分を含め29億1480万円。

②現在できる最善の対策を講じ、地震・災害による被害が最小限となるよう努

めている。

③平成23年度までの事業費総額は5億5185万円。内訳は国費1億8547万円、県補助金1億5125万円、町一般財源2億1512万円。補助基数は1711基。

④下水道との公費の二重投資とならないよう合併浄化槽整備事業を推進したい。

町政のここが聞きたい

一般質問

藍住町域内における生活保護費の詐欺事件について

町の直接的な関連はない

問 元共産党の扶元県議が逮捕された件は、生活困窮者の藍住町への入居手続で不正があり、これに関与した疑いがあります。この件は、不動産業者と藍住在住の生活保護受給者とが共謀して、北島町から藍住町へ転居する際、虚偽の書類を東部保健福祉局に提出するのを同元県議が指導した疑いであり、県警は事件の全面解決に向け捜査しています。

住宅扶助の支給額には上限があり、徳島県の場合、2人世帯の家賃の上限は3万6千円。これを上回れば、敷金や仲介手数料などが支給されないため、不動産業者は家賃を実際より安くした虚偽の計算書を作成し、家賃3か月分に相当する金額を同局から騙し取った疑いがあります。福祉課

はどのような関連をしていたのかお尋ねします。

答 本町は福祉事務所を設置していない町に該当するため、生活保護に関する事務の実施機関は、徳島県東部保健福祉局であり、申請・決定において、町は直接的な関連はない。

町は生活保護の申請に当たり、相談窓口となっており、相談窓口となっており、医療券の交付をしたりして生活保護事務が円滑に進むよう協力している。



演 眞吉 議員

新学期から学校週6日制は始まるのか

国・県・県内他市町村と情報交換し、検討したい

問 下村博文文部科学大臣は、1月15日、公立小中学校で土曜授業を実施する学校6日制について、導入に向けた検討を始めたことを明らかにしました。現政権が掲げている政権公約で「ゆとり教育」を見直した新学習指導要領が小中学校ですでに実施されており、新年度から全面实施となるのか、お尋ねします。

答 教員の多忙感を放置したまま週6日制へシフトすることは、教育現場に混乱と疲弊をもたらすことになり、この問題と併せて考える必要がある。

また、町小中学校の教職員は県教育委員会に採用された県費教職員であり、藍住町単独で週6日制の勤務をさせるのは困難である。実行に際しては関係機関と連携しながら検討したい。



新学期が始まりました（藍住東小学校入学式）

視察研修報告

2月19日から21日まで、議員ほか町長、事務局長の17名により、東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県石巻市と千葉県香取市への視察研修を実施しました。



水没した沿岸部の小学校跡(石巻市)

石巻市は、人口約15万人、旧北上川の河口に位置し、明治時代から漁業のまちとして栄え、石巻工業港の開港など工業都市としても発展してきた。

東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)では、津波によって平野部の約30%、市街地の全域が浸水し、石巻工業港以東の太平洋沿岸部で各浜が壊滅的な被害を受けた。

また、北上川と旧北上川では津波が10数キロまで遡上し、流域部の広域で水没や浸水による大きな被害が発生した。

石巻市での死者・行方不明者は約4千人、避難所の数は指定避難所だけでは到底足りず、一時は公民館や集会所などを全部利用して259箇所、避難者数が最大5万758人で、全人口の約3分の1の方が避難していた。

そして、現在も応急仮設住宅や民間借り上げ住宅に約3万4千人の方が入居している。

市の復興計画では、防波堤や新たに5m程度の高盛り道路を整備し、非可住地域(商業地域)とその奥に住居等の地域を配置する。さらに避難ビルや避難タワーを建設することにしており、区画整理等も行っていく計画である。

喫緊の課題は、防災集団移転や災害公営住宅の建設、会社の全壊により解雇状態となっている方への雇用の確保、人や企業の流出への対策、地盤沈下に伴う浸水と塩水への対策、福島原発の放射能汚染による風評被害への対策等であるが、ほかにも課題が山積している。さらに、復興にあたる市職員について、現在53の自治体から112人の応援を受けているが、実際に必要な人員の半数程度であり、まだまだ不足しているとのことであった。

説明を受けた後、津波によって壊滅的な被害を受けた沿岸地区を視察したが、大きな建築物以外はほとんど何も残っていない状態であり、今後、非可住地としての公園や緑地を整備することであった。

次の視察地である香取市は、人口約8万3千人、千葉県の北東部に位置し北部を利根川が西から東に流れ、その流域には水田地帯が広がっている。

東日本大震災における香取市の震度は5強であり、揺れが2分余り続き、利根川付近では液状化現象によって大きな被害が発生した。特に、利根川沿線の河川改修によって埋め立てられ、現在は住宅地や農地になっている旧河道や旧湿地箇所エリアで大きな液状化被害が発生している。

液状化被害の面積は約3500ヘクタールで、このうち住宅密集地域が約140ヘクタールである。

地震による被害状況は、建物被害が約6千棟で、うち全壊が224棟、大規模半壊及び半壊が2524棟であり、半壊以上の大きな被害を受けた建物の8割以上が液状化被害を受けた地域に集中している。

液状化による地盤のずれ、沈下や支持力の低下によって、建物や電柱の傾斜、道路の波打ち、マンホールの浮き上がりといった被害が発生している。

また、液状化地域を中心に約2万世帯で水道が断水し、下水道についても約1800世帯が被害を受けている。

農業被害では、農地が噴砂で埋まり給排水施設が破壊されたため、米の作付けができないといった被害があった。

現地視察では、市役所周辺の液状化被害の現場を視察したが、河川護岸の崩壊や地盤沈下の跡、道路の波打ち、傾いた家屋などが今でも数多く見られ、水道管は路面の端に仮復旧されたままの状態であった。

東日本大震災以降、国における復興支援や被災者支援の問題点が指摘され、見直しも行われているが、復興への道のりは長く、被災地では多くの課題を抱えており、今後も支援の拡充と継続した取組が必要である。

藍住町は、南海トラフでの巨大地震による被害想定において、町内全域で液状化の可能性が大きく、さらに、昨年県が公表した津波浸水想定においては新たに藍住町の一部が浸水区域となった。東日本大震災の教訓を踏まえて今後の災害対策に取り組んでいかなければならない。



香取市での研修



液状化で傾いた建物(香取市)

定例会案内

次の定例会は6月です。
次号は8月に発行します。

●お問い合わせ●
議会事務局 ☎637-3127

本会議を 傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局までお気軽にお越しください。なお、傍聴席の定員には限りがありますので、ご了承ください。

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政に関するご意見をお寄せください。



投稿規定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③字数は500字以内。
- ④投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

議員研修報告

徳島県町村議会議員研修会に参加



5月10日、つるぎ町「就業改善センター」において開催され、本町全議員が参加しました。

基調講演として、半田そうめん応援団長である俳優の八名信夫氏により「悪役人



つるぎ町無形民俗文化財「天の岩戸神楽」

生 人との出会い」と題した講演が行われました。

また、講演後には松尾神社において、つるぎ町無形民俗文化財である「天の岩戸神楽」を鑑賞しました。

全国コンパクトタウン 議会サミットに参加

4月18、19日に北島町で開催された「全国コンパクトタウン議会サミット」に、本町議会から2名の議員が参加しました。

このサミットは、自治体面積15km以下の町(全国64自治体を対象に、合併せず自立の道を選択した町の議員が集まって意見交換を行うもので、県内外から14町、約60名の議員が参加しました。

〈参加議員〉

● 西川 良夫 副議長
● 濱 眞吉 議員

〈基調講演〉

「コンパクトだから輝くまちづくり」

講師 新潟県立大学准教授

田口 一博 氏

〈参加した分科会〉

防災減災「災害時の相互交流」

議会改革「情報公開の実態」

陳

情

3月定例会では、3件の陳情があり議員に配付しました。

▼核兵器全面禁止条約の締結に関する意見書提出についての陳情書

陳情者 非核の政府を求める徳島の会
代表世話人 中村 勸善

▼米軍機・オスプレイの低空飛行訓練中止を求める意見書の提出に関する陳情書

陳情者 徳島県平和委員会
代表理事 神野 美昭

▼違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情書

陳情者 井田 敏美

わたしの一言

住吉 滝下 貞行さん

ここに根をおろして

藍住町で生活を始めて、もう35年になります。ここに来たころは「新住民」「旧住民」という言葉がありました。よそもの新住民、地元民の旧住民という分け方でした。県の西部から来た私たちは、まさに新住民でした。しかし、生活には何の支障もなく、子どもも生まれ、子どもたちにはここが故郷となり、幼なじみもでき、旧住民です。核家族の典型みたいな発展の仕方のこの町。そんな町でも友人もできました。そろそろ定年をむかえようとする年になりました。この友人たちと楽しくつきあって行こうと考えています。

町政に対して一言ということで、藍住町は、体は大きいけれど少々もの足りない町です。というのは、人々の集まる場所がない。集まって楽しめる場所がないと思います。商業の建物はあっても、友人と楽しい時を過ごす場所がありません。故郷には友人がいて、話し、楽しむ場所があります。この町にそんな場所を望みます。この町に根をおろしてこれからも生活していきます。自分にできることは進めていきますが、行政に望むことは「ここで住んで良かったね」と思えるまちづくりを進めていただきたいということです。



桜づみ公園

議会のうごき

2月

- 5日 議会全員協議会
- 12日 徳島県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会（徳島市）
- 18日 徳島県後期高齢者医療広域連合議会定例会（徳島市）

19～21日

- 議員視察研修（宮城県石巻市・千葉県香取市）
- 25日 議会運営委員会
- 26日 板野郡町議会議長会定例会
- 28日 徳島県町村議会議長会定期総会（徳島市）

3月

- 4日 町民体育館絨帳製作競技審査会
- 7日 3月議会定例会開会 全員協議会
- 8日 厚生常任委員会
- 11日 建設産業常任委員会
- 13日 総務文教常任委員会
- 15日 中学校卒業式
- 18日 小学校卒業式
- 21日 3月議会定例会一般質問
- 22日 教職員離任式
- 25日 3月議会定例会閉会

4月

- 27日 板野西部青少年補導センター組合議会定例会（板野町）
- 28日 板野東部消防組合議会定例会（北島町）
- 1日 教職員着任式
- 9日 小・中学校入学式
- 18日 全国コンパクトタウン議会サミット（北島町）
- 26日 板野郡町議会議長会定例会（板野町）



編集後記

最近、生活保護費詐欺事件が問題となっていています。

長い人生の間には不幸が続き、どうしても生活が成り立たず、国に援助を求めることもあり得ることで、憲法においても認められています。

しかし、力の限り労働した者より多額の生活費が不正に受給されることは、勤労精神を阻害させるものであり、国家の基盤を揺るがす原因ともなりかねません。

憲法で認められたこの生存権が悪用されることのないよう、生活保護の申請及び決定においては、実施機関の厳正な対応を望むところです。

議会だより編集委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 矢部 秀行 |
| 副委員長 | 東 條 義和 |
| 委員 | 西岡 恵子 |
| 委員 | 永 濱 茂樹 |
| 委員 | 森 志郎 |